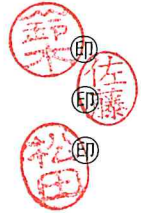


令和2年12月7日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 様

代表者 鈴木 照一
記録者 佐藤 孝一
班員 松田 光也



議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和2年11月 8日(日) 午前10時 ~ 午前11時30分	
2 会 場	市立中部公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	6名(男性 5名、女性 1名)	
5 報告内容	令和元年度の議会活動状況など	
6 意見・要望等	市 民	議 員
	7月豪雨で下流域の下水道に被害が出た。改修計画と今後の対応についてどのようなになっているのか。	古いものから交換しているが、下水下流域の成生、今町地区から重点的に進めてほしいと要望している。
	6月議会での一般質問を中止にしたことは残念だ。コロナ対応なのは理解できるが、本市職員たちはコロナの緊急事態と、議会の一般質問にも十分に対応できていると思っている。一般質問は議員が執行部に対して意見できる大切な機会なので、今後は中止せずに開催していただきたい。	新型コロナ対策支援本部を立ち上げ新型コロナ感染症に迅速に対応できるようにした。
	市議会議員選挙は低い投票率だったが、それぞれの議員がしっかりと政治活動をすることで市民の方々に参政意識が芽生え投票率が上がるのではないかと、議員の方々には頑張りたい。	地元に着した政治活動をやることにより投票率に反映されるよう頑張りたい。また辻立ちなど提案いただいた政治活動は議会に持ち帰り報告いたします。

	<p>7月豪雨では各避難所の設置・運営についていろいろな問題点があった。新たに避難計画が策定されたようだが、一日も早く実施訓練していただきたい。</p>	<p>今回の避難において色々な問題点が見えてきた。それを踏まえてより良い避難所運営ができるように行政・地域住民が協議を重ねながら作り上げていくことが大切だ。危機管理室にはしっかりとした指導を行うように伝えます。</p>
	<p>申請や申し込みの時に、はんこを使う場面が多いが必要性が感じられない。はんこを使わずに署名などで対応するようにできないものか。</p>	<p>国でもはんこの決済の廃止を進めている。いずれ地方自治体にもその流れがくると思うが、先駆けてやれるように要望します。</p>
	<p>はな駒荘にモニターやプロジェクター等の設備がないが、設置をお願いしたい。</p>	<p>担当部署に伝えます。</p>
	<p>毎年のように台風や豪雨災害が起きているが、地球温暖化等による要因が大きく長期的かつ継続的にそのようなことが発生すると思われる。災害対策について抜本的な対策と計画を考えないといけないのではないか。</p>	<p>計画自体が古いデータを元に計画しているので最新のデータを用いて計画をし直す時期に来ていると思う。</p>
	<p>それぞれの議員の選挙公約の達成度合いを議会だよりで発表すればいいのではないか。また発行日を15日に出来ないか。</p>	<p>広報委員会に伝えておきます。</p>
	<p>議員定数と議員報酬について、議員報酬の予算の中で配分するような形にしたらいかがか。議員定数が増えれば議員報酬は減るようになるし議員定数が減れば報酬は増えるようになる。</p>	<p>議会で定数と報酬に関しての特別委員会を設置する動きがある。委員会に伝えておきます。</p>

	<p>コロナ禍で商店街や飲食店などでは廃業を考えているところもあると聞く、効果的な支援策はないのか。</p>	<p>新型コロナに対する正確な情報発信が必要だ。十分な対応を取っておれば経済活動のある程度優先してもいいのではないか。</p>
	<p>コロナ禍で一般企業は業績が振るわず、給与や賞与なども減額されている。期限を定めて議員報酬の2割減額などの考えはないのか。</p>	<p>全議員の政務調査費及び各常任委員会視察費の返納をした。議員報酬の減額については議論になってない。</p>
	<p>議会だよりを拝見すると長期的展望に立った意見が少ない。皆さんの専門にしているテーマを聞きたい。</p>	<p>松田 まちの活性化を図る 佐藤 次代を担う若い人を育てたい 鈴木 子育てと教育問題</p>
<p>7 所 感</p>	<p>コロナ禍での開催にもかかわらず参加してくれた皆様に感謝申し上げます。今回はこれまで寄せられた意見をふまえ、女性や若年層の参加増を期待しつつ週末の日中に開催させていただきました。 コロナ禍ということもあり、見込み通りとはなりませんでしたが、今回も貴重な意見を伺うことができました。 今後の議会活動に活かしたいと思います。</p>	